

2018J2 ■順位表 ■第1節終了

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

1	山口	3p	+3	4	1
2	水戸	3p	+3	3	0
3	大分	3p	+2	4	2
4	町田	3p	+2	2	0
	福岡	3p	+2	2	0 A●
6	大宮	3p	+1	2	1
	東京V	3p	+1	2	1
	金沢	3p	+1	2	1
9	新潟	3p	+1	1	0
	岡山	3p	+1	1	0
11	横浜FC	1p	1	0	0
	松本	1p	1	0	0
13	千葉	0p	-1	1	2
	甲府	0p	-1	1	2
	愛媛	0p	-1	1	2
16	讃岐	0p	-1	0	1
	徳島	0p	-1	0	1
18	栃木	0p	-2	2	4
19	岐阜	0p	-2	0	2 --- ---
	京都	0p	-2	0	2
21	熊本	0p	-3	1	4
22	山形	0p	-3	0	3

次回HomeGame

第5節 vs. 栃木SC
3/21 (水・祝) 14:00
@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前（三菱東京UFJ銀行隣り）
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

Living in Woods

本庄工業株式会社
<http://www.honjo-woodream.com/>

湯麺 戸塚

店主：戸塚 哲也
瑞穂市穂積1596-4
11:30~14:00/18:00~21:00(L.O.20:50)
お休みは twitter: @Tanmen_Tozuka
でお知らせします

today's guest : **横浜FC**

2017 J2 17勝12分13敗 勝ち点63:10位

直近の対決と結果

2017/07/15
J2-23節@ニッパツ
横浜FC 1-0 岐阜

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜		横浜FC	
2018/02/25 J2-1節@レバスタ	福岡 2-0 岐阜	2018/02/25 J2-1節@ニッパツ	横浜FC 0-0 松本
2017/11/19 J2-42節@NDスタ	山形 4-1 岐阜	2017/11/12 J2-41節@ニッパツ	横浜FC 1-1 岡山
2017/11/11 J2-41節@長良川	岐阜 1-1 湘南	2017/11/05 J2-40節@ニッパツ	横浜FC 2-0 熊本

●今年もまた、J2リーグが僕らの街に帰ってくる。昨シーズン、2017年の我がF C 岐阜は、攻撃的なパスサッカーを特徴とする大木武監督の指揮でチーム戦術が一変し、リーグの話題と注目を集めた。そして、クラブ史上最短でJ2残留を決めたのは評価したいが、しかし、最終順位は残念ながら18位と、例年とそれほど変わらない成績になってしまったことは反省材料だろう。大木監督2年目となる今年は、結果も求められるシーズンとなることは間違いないが、昨年の中心選手だった庄司悦大（→仙台）、シシーニョと大本祐槻（→ともに徳島）の移籍は大きく影響するだろう。もちろん今オフに、クラブは若く有望な選手を獲得あるいは期限付き移籍で迎え入れたが、逆説的に言えば、今年もまた、半分以上の選手を入れ替えたことになる。昨シーズン42試合の出場時間と言えば、約3分の1がチームを離れた計算だ。パスサッカーをチーム全体に浸透させるには、選手相互の理解が重要で、それには時間もかかる。そしてまた、J2に“攻撃的サッカー”が浸透しつつある現在、岐阜への対策も研究されてきているだろう。今年もまた、しばらくは我慢するシーズンを受け入れなくてはならないかもしれない。

事実、2018年シーズン開幕戦となった2/25（日）アウェイ福岡戦では、堅守速攻を武器とする福岡に試合序盤から押され、パスが繋がらなく守備も乱れたまま、早々に失点。後半には与えてしまったPKを#25ビクトルが止めるスーパーセーブをみせたものの、そこで試合の流れを掴むことができずに失点し、0-2での敗戦。シュート数もわずかに3本と、課題の多く残る試合となってしまった。この試合での反省や悔しさを、このホーム開幕戦にぶつけて、今季初勝利を掴み取って欲しい。

さて、そのホーム開幕戦の対戦相手は、現在11位の横浜FCだ。昨年は10位の成績に終わったが、昨シーズン終盤にブラジル人のタヴァレス監督を招聘し、今季の巻き返しを図っている。前節では松本と死闘の末、0-0に終わっている。チームとしての手応えは掴んでいるだけに、手強い相手となるだろう。

横浜FCで最も注意しなくてはならない選手は、やはり昨シーズン25点を挙げてJ2得点王に輝いたFW#10イバだろう。この大型FWを岐阜の守備陣がしっかりと抑え込み、そして彼へのボールの供給を断つことが、岐阜の勝利のために必須要素だ。また、#4渡邊将基は2015年に甲府からFC岐阜に期限付き移籍して守備の要として活躍し、岐阜のJ2残留に貢献してくれた選手だ。その活躍に感謝はするが、この試合では、岐阜の選手がその守備の壁を打ち破ってくれることに期待したい。例えば、かつて横浜FCで特別指定を受けて“再び”Jリーガーになった、ベテラン#24難波宏明（06~12年に在籍）が決勝ゴールを挙げれば、スタジアムを多いに沸かせることだろう。また、ベテランといえ横浜には“キング・カズ”こと#11三浦知良と、今年からは#35松井大輔が揃っているが、岐阜の若手選手たちには、彼らを恐れず圧倒する姿を見せてほしい。

残念ながら、横浜FCとの通算対戦成績は7勝3分12敗・27得点33失点と、岐阜が負け越している。しかも、昨シーズンはホーム戦・3/19（日）第4節で1-2、アウェイ戦・7/15（土）第23節に0-1と2連敗。今シーズンは、そのリベンジを果たしたい。そして今年も、ホーム・長良川で勝つためには、最後まで諦めず勝利を信じて、戦い続ける選手たちの背中を後押しする、多くのサポーターの拍手と声援が必要だ。ホームスタジアムを盛り上げ、今期最初の「万歳四唱」と歓喜を、選手たちと共に分かち合おう。今年も長くても、激しく熱く、そして勝った負けたと一喜一憂する、全42試合・J2リーグ2018年シーズンが始まった。

(ささたく)



「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。『チヂミ屋』はJR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。休：月曜日

投稿募集!!

gidaidohri@gmail.com

【第1節】福岡 2-0 岐阜

●大木監督2年目のサッカーがどうなるか…とはいえ、主力3選手が移籍してしまった状態では、“継承”というより“再構築”だよなあ……今年はPSMも無いから、どんなチームになるのかも全然わからないし……そんなことを思いながら、迎えた2018年の開幕戦。スタメンを見た時、正直驚いた…いや、開幕戦のスタメンには毎年驚いている気もするのだけれど(苦笑)。両SBは新加入だし、#5翼と#14宏矢はベンチにもいない。スタメンの半分は新加入選手、でも新加入の外国人選手ゼロ。平均年齢は……ええと、24.1歳?(苦笑)これは、大丈夫なのだろうか…。

と、思った予想が悪い方向に的中しました(溜息)。試合経験が浅いからなのか開幕スタメンに緊張してるのか、ボールが岐阜側ではなかなか収まらない。そうやってバタバタしてる間に、左右に振られて守備を崩されて、試合開始5分で失点。いや確かに、あのボールをバイシクルで決めた相手も良かったけど、でもゴール前でどフリーでしたよ?あれでは今年の守備も思いやられる……(溜息)。

さて、“大木サッカー”といえば、ショートパスでの攻撃……あれれ?昨年とボール運びが違う?昨年は「おいおい、そこでもボールキープするか?」ってぐらい、ショートパスでボールを繋いでいくスタイルが主流だったように思うんだけど、今年はそれよりも縦へ長めのパスが増えてるように思う。DFのロングクリアなんか久しぶりに見た気がします(苦笑)。このあたりは、選手が変わったからなのか監督が変えたからなのか、それとも福岡相手にショートパスが封じられてたからなのか、気になるところではあります。

とはいえ、昨シーズンはプレーオフ進出・今年も戦力を強化してJ2優勝を狙おうとするチームを相手にするには、まだまだチームの経験値が不足していると言わざるを得ないような出来映え。後半にPKを#25ビクトルがスーパーセーブで弾き出した時には、ウチに流れが来るかと思ったんだけど、そこで決められない……(溜息)。

結局、守備のミスから2失点目も与えてしまって、0-2での敗戦。公式記録ではシュート3本って書いてありますが、枠内シュートってあったかしら?というぐらいに、自分たちのサッカーはできていなかったと思う。残念ながら、完敗だ。しかし、シーズンはこれから。今節の反省を、着実に活かして、ホームでは勝利を!(ささたく)

●試合後の飛行機から乗り換えた電車に忘れ物。試合の時にいつもかぶってるキャップだったんで、試合の結果に追い打ちをかけるようなチョンボに苦笑するしかなかった。幸いボクの忘れ物は翌日には戻ってきてくれた。でも、ウチのチームが忘れて来たモノを取り戻すには、しばらく時間がかかりそうだったのが福岡戦の感想かな?

福岡の出来が特に良かったとは思わない。むしろ、隙はかなりあった。ただ、フィニッシュの前や繋ぎの途中のミスが多すぎた。それと、やっぱりゴール前で相手をフリーにし過ぎたような気がする。森本のような元代表クラスはもちろん、石津だって、あんなにプレッシャーがない場面なら決められて当然だ。

それにしても、試合を通して四苦八苦してたな、ウチの選手。昨季の開幕直後の状態にまで仕上がるのはいつになるか?ウチに来るまでは「大木サッカーは時間がかかる。」のがもつぱらの評判だった。やはり、その評判は的を射ているのかもしれない。昨季の今頃にああいうサッカーが出来たこと自体が異例だったのかも。選手も大幅に入れ替わった。昨季の開幕戦のスタメンで、今季の開幕戦にスタメンだったのはビクトルの他は田森、悠史とキョーゴの4人。そりゃあ、コンセプトは同じでも表現できるサッカーは違うのが道理。昨季はショートにパスで相手を集め、開いたスペースへ大きなサイドチェンジ。その開いたスペースを左右のSH、SBが走りま

くって使い回す。そのメンバーから、パスの配給元にしてボールの収めどころ。サイドチェンジの名手にしてボールの狩人。無尽蔵のスタミナでフルタイムを走り抜ける猟犬。スタイルの根幹を担った3人が抜けたんだから、同じようなサッカーが出来ようはずもない。

福岡戦では、一気にサイドを変えるパスが見られなかった。逆にロングボールで裏を狙うようなプレーが散見された。ただ、肝心な場面、ゴールを狙う前段階でのミスが多く、フィニッシュに繋がらなかった印象。あと、山岸の使い方が徹底できなかった。消える場面が多かったように思う。それと、あえて厳しいことを言うと、賢星が決めてれば何とかなかった……かもしれない。交替直後のファースト・タッチからのシュートも、守護神がPKを防いだ後のシュートもタイミングはバッチリ!なのに、何で枠に飛ばない?少なくとも、どちらかが決まっていれば、チームも、そして賢星自身もノッていけたんじゃないかな?もったいない、ホントもったいないよ。「初ゴール待ってます。今季はどどん決めちゃってください!」ってキックオフ・パーティーの時にお願いしたのになあ(苦笑)。次は頼むよ?

それと、どうしても気になるのが新外国人選手の二人。調整不足なのか、コンディション不良なのか。どちらも弱った話だ。待てばいいだけなら問題ないんだが……。とにかく、彼ら二人に、同じくベンチに入らなかったコーヤや、ベンチスタートだった福ちゃんやパウロがスタメンを勝ち取るような状態になってくれないと。待つこともガマンすることにも慣れてるつもりだけど、なるべく早く……ね。

ともあれ、いよいよホーム開幕戦。福岡戦での鬱憤を、思いっきり晴らしてやりましょう!

(ぐん)

『キックオフ・パーティー』に参加してきました!

●しかし、いつのまにか、立派なイベントになったねえ。参加者は四百人弱ですか。広いフロアの真ん中にフードスペース。その前後左右に10人程度が着席できる丸テーブル。座席にはお土産一式。今季のイヤールック。クラブのエンブレムやギッフィーのイラストが入ったクッキー。キリン一番搾りと零イチのミニ缶。そして、開幕4試合のみ有効のメイン自由席招待券4枚。コレだけで、会費以上だよなあ〜。壇上での社長、来賓の挨拶の後は、選手が自分のバスタアップ画像・プロフィール、裏面にユニ着たフルショットが載ってる選手カードとサインペン持参で各テーブルに挨拶に来てくれた。しかも、選手一人一人にスタッフが一人専属で付いてる。で、スタッフの方が「○○が挨拶に伺いました。」と紹介して回るといふね。おかげで、選手との会話やツーショット撮影がスムーズにできました。時間が押してて全員からサインをもらうことはできなかったけど、選手カードはゲットしたからね、いずれ、もらい損ねた選手からサインをもらうことにしよう。それにしても、島村くん、長沼くん、イヨハ。みんな、若くて可愛いワ。彼らが若すぎて、大地くんやヤブがオトナに見えた(笑)ただ、誰もが受け答えはキチンとできてた。ちょっと感動した。参加したのは四、五年ぶりだから、なんか隔世の感あり、だね。来年も参加したくなかったよ。今から来年が楽しみだ。

閉会後には司会を務めてくれたスタジアムDJの久世さん、そしてアシスタントの伊藤寧々嬢にもサインをいただきました。今季もよろしく願います!

(ぐん)